

広げる

福島県内の特色ある地いきのよさを、学校のみみんなに伝えてみましょう。

県内の特色ある地いきのよさを伝えよう

はなさんたちは、これまで調べてきた特色ある地いきについてふり返り、自分たちが住むまちとくらべて、気づいたことを話し合いました。



「わたしたちのまちにも、浪江町のように伝統的な産業でつくられた特産品があるよね。伝統的な産業に、長いれきしがあるところは、浪江町とにているね。」



「いわき市には、わたしたちのまちよりもたくさんの方の人たちがくらしているよ。みんながくらしやすくするための取り組みを、市だけでなく、留学生や地いきの人々も行っていたよね。」



「わたしたちのまちも自然がゆたかだけれど、只見町はユネスコエコパークに認定されていて、自然や生き物を未来へつなぐ取り組みをしていたね。」



「棚倉町では、古くからのまちなみを残すために、地いきの人々が協力して取り組んでいたよ。わたしたちのまちでも、昔の建物を大切にしまちづくりをしているよね。」

自分たちのまちとにているところや、ちがうところは、どのようなどころかな。



次に、これまでにつくった4コマCMや写真を活用して、県内の特色ある地いきをしょうかいする三角ポストをつくり、福島県のよさを学校のみみんなに伝えることにしました。

三角ポストで、特色ある地いきをしようかいしよう

【つくり方】

これまでに学習してきた特色ある地いきの共通点をまとめて、福島県のよさを伝える。

- ① 三角柱になるように工作用紙を切る。
- ② 長方形の面に、学習した三つのまちについての説明を書く。
(タイトル, 特色, 写真, 考えたことなど)
- ③ 三角柱になるように組み立てる。
- ④ 3つのまちに共通していることや考えをはたに書いて、三角柱の上に立てる。

福島県の特色ある地いきでは、
役場や住民が力を合わせてまち
づくりを進めています。

人と人がつながることで、観光
や産業を盛り立てています。

「れきしあるまちなみ」**棚倉町**
の
ところは、「自然と共に生きる
町」に変わることがあります。

自分が学習したことをふり返り、
三角ポストをつくろう。



「伝統的な産業」 浪江町



浪江町は、江戸時代から300
年以上続く伝統的な産業の焼き
物づくりがさかんです。

東日本大震災の影響で、浪江
町は全町避難をしました。

それでも、職人さんや町の人が
協力し、別の土地で大堀相馬焼
の伝統を守り続けています。

「共にくらす」 いわき市



いわき市には、外国の人がたく
さんくらしています。また、中国、
オーストラリア、アメリカといった
外国との交流がさかに行われ
ています。

いわき市では、日本人も外国の
人も「共にくらす」ためのまちづく
りが進められています。

「れきしあるまちなみ」 棚倉町



棚倉町は、「東北の小京都」と
よばれ、江戸時代に城下町だっ
たころのまちなみが残っていま
す。地いきに住む人々も古いまち
なみを大切にしています。

より多くの人に町のよさを知っ
てもらうために、PR活動にも力
を入れています。